

広報
255号

東京都製紙原料組合

発行所
東京都製紙原料同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980~1
発行人 近藤 勝
編集 広報委員会



ガスに覆われた紅葉の林に、スリット状の光を待った。
城南支部 (株)梶谷商事 梶野 泰一

〈 主な内容 〉

時の視点	理事長 近藤 勝	2	組合員の広場	
第21回古紙関係協議会		3~7	15年を振り返って	
東京返本加工協同組合	第42回通常総会開催	8~9	美濃紙業(株)守谷営業所	寺田英昭 12
集荷部委員会開催	集荷部部長 宮崎勝保	9	私の夏休み	広報部長 清水弘允 12~14
支部便り			新事務局員挨拶	濱谷敬子 15
(江島支部) 支部会	集荷部副部長 石橋駒雄	9	お知らせ	
(文京支部) 納涼会	文京支部長 大柴和男	10	「10月会議・歳事予定」 「古紙価格」 聞報	15
(台東支部) 納涼会	台東支部長 高山昭二郎	10	会議概要 [10月]	16~20
(山手支部) 家族慰安会	山手支部員 飯塚宗夫	11	編集後記	広報部副部長 高橋宏明 21
(城南支部) 納涼会	城南支部長 坂田 智	11	広告	22

*この広報用紙は、古紙再生紙です。

時の視点

理事長 近藤 勝

日頃から当組合活動にはいろいろのご協力を賜りまして誠に有難うございます。新年度がスタートし半年が経過しつつしておりますが、その間、約半数の支部を訪問させて頂きました。各支部がそれぞれの伝統の中で、又、それを支える支部員さんのご努力の中で活発に活動されておりますことに心から敬意を表したいと思います。さて、今年の夏は本当に厳しい夏でした。参院選での自民党惨敗や数日間で3,000円からの下げを見た株式市場にはそれほど驚くことはありませんでしたが、体感温度が一度を超す連日の猛暑には、当社でも熱中症で社員が倒れる者も出るほどでした。正に集荷現場にとっては地獄の一ヶ月であった事と思います。

古紙市況も予想されていた通り、昨年から新たな局面に入って参りました。2000年ではわずか30万トンであった日本の古紙輸出量が1年目の今年には60万トンを越える見込みとなってきました。中国の強烈な引き合い

と重なって、国内の洋紙メーカーによるDIP・新マシン増設により昨年は新聞古紙を中心に、本年は中国の段原紙メーカー大増設により輸出価格の急上昇から国内段ボール古紙中心に価格が修正されました。家庭紙原料を中心とする上物古紙も同じく、輸出の影響や洋紙メーカーの引き合いにより昨年から数回に亘り修正され発生元へは再生資源として支払いができる価格帯になってきました。当組合で取組んでいる共販事業も当初は需給調整の目的でマレーシア、中国、韓国と販売して参りましたが、今後は目的を国際マーケットでの市場調査として定期的に報告を受けながら、引き続き継続している状況であります。

一方、集荷の方に目を向ければ、依然として発生量が低迷している産業古紙に比して事業系や家庭系古紙の全国的な回収促進が見られ回収率も74%と大きな伸びがみられます。しかし、仕入れ価格については行過ぎと思われる面が多く見られるようになりました。特に入札制度のある行政関係については首を傾げたくなる様な価格も各地で出現、正常な価格と想われても「貴社は安いのではないか」と行政から指摘を受けたというような話も耳にします。行政の古紙に対する見方も大きく

変わっているようですが、高値に拍車をかけるような指導も問題です。現在、古紙業界は大きな過渡期の中であり、洋紙メーカーも古紙配合率を下げる動きに出しております。今後、どこかで落ち着く時が来ると思いますが、全原連を通してでも行政との調整は必要になってくるのではないかと思います。

組合活動ではできるだけ多くの外部情報を得る為に、今後も多くの他組合との交流を持ちたいと考えております。役員の方々には積極的にご出席頂き社会の変化を業界として認識し各支部員に伝達して頂きたと思つと同時に、組合員の皆様方には必ず支部会へ出席して様々な情報を持ち帰って頂くようお願い致します。又、古紙全般の価格修正に伴いもう一度、組合員一人一人が自分の仕事を振り返り、今まで以上に透明性のある業態に改革すると共に、環境や情報保護に配慮した認証制度や、既にご案内が届いている「古紙リサイクルアドバイザー認定制度」「古紙商品化適格事業所認定制度」にも積極的に投資していく必要があると思えます。

6月に入りますと、あつという間に正月がやってきます。これから年内1ヶ月の間に平

成16年度版の総合名簿の作成に入ります。又、来年は組合設立60周年の年にもあたり、皆様方にはいろいろのご協力願うことが多くあると思いますが、今後共々ごぞ宜しくお願い申し上げます。

第21回 古紙関係協議会

平成19年7月30日(月)

09:30~

製本工組会議室にて開催

出席者 東京都製紙原料協同組合 14名
東京都製本工業組合 13名

星野副理事長(東京工組)

本日、欠席の城所理事長の代役を務めさせていただきます。本日結集なされた東京都製紙原料協同組合の皆様、そして当組合三役、支部長、部会長の皆様には、お互いに忌憚のない意見を述べていただき、両業界がよりよい関係を築き上げていくようにしたいと思います。

近藤理事長(東京協組)

ここ数年、中国を中心とした世界的な資源不足から、古紙を取り巻く環境が大きく変化

②産業古紙の現況

上田直納部副部長(東京協組)

産業古紙に関しては海外市場の需要が低い。なぜ低いのかというと、歩留まりが悪いという評価を、残念ながら海外ではもらっている。国内市況については、製本企業から出る古紙は裁落物が中心である。大きく分けて裁落物は、板紙メーカー、家庭紙メーカー、そして切付といわれる特更メーカーが使っている。一言で言えば、全てにおいてタイト感が強い。今まで家庭紙原料といわれた色上やケントは家庭紙メーカーが使っていたが、昨今は家庭紙メーカー及び大手洋紙メーカーが使っている。そして切付といわれる原料に関しても、マンガの紙を作っているメーカー向けだったものが、洋紙メーカーにより、新聞に混ぜて使われている。このような大きな流れの変化が、3年前から現れた。

洋紙メーカーの動きが非常に大きなウエイトを占める。通常5月の連休の時は、産業古紙は余ってしまつ。言い方を変えると、価格が下がりやすい事になる。

③回収にかかわる現況

宮崎集荷部長(東京協組)

直納部の共販活動により、一時は赤字覚悟

している。製本業界の皆様と我々古紙業界が、従来の古い慣習にとらわれることなく、透明でわかりやすいシステム、そしてより一層サービスの向上に努め、お互いに信頼関係を深めていきたい。

古紙業界の動向

①古紙全般に関する現況

赤染直納部長(東京協組)

現在、新聞紙上で話題になっているが、すそ物三品、ダンボール、新聞、雑誌、ミックスペーパー、その他の中国輸出が引き続き順調で、一時的に4月5月と若干相場的に落ち込んだが、6月には元に戻り、強含みの形で推移している。

特に雑誌に関しては史上最高になっている。この背景には、中国で製紙工場の建設ラッシュがはじまり、中国最大メーカー2社が中国国内に大型工場を建てている。反面、あおりを受け、中小規模の工場が廃業においやられている。

今年初めて生産が中国国内での消費を上回るといふ発表がなされた。そのため、製品を欧米や日本に輸出しなければならぬ状況になっている。それにつれて日本国内製紙メー

の輸出をしてきたおかげで日本の古紙の優秀性を理解してもらいだした頃に、中国国内のマシン増強により古紙の需要が増え、又、国内においてもメーカーのDIEP設備増設により古紙の需要が増大、価格修正があった事は私達集荷業者にとって明るい動きが出てきました。

しかしながら、この収益率を維持するのは非常に大変な事である。何故なら、お得意様である製本業者さんに集荷に行っても量が集まらない。その為にいろいろな業者の手が空いてきて過当競争が始まりかけている。

是非貴組合員の皆様、今まで出入りの集荷業者を宜しくお願い致します。又、もし不明瞭な事があれば、その業者とよく話し合ってください。

製本業界の動向

島村雑誌部会長(東京工組)

今の話の中に古紙の回収状況があったが、確かに製本業は元気がないのが実情である。部数のごとく減少し、一番元気だった週刊マンガでさえ元気がなくなっている。

製本会社はお客様から受注があつて初めて商売になる。その中でいろいろな本やカタ口

カー(板紙メーカー)によると、原料が足りないという事で、7月1日から2円の値上げを発表した。この夏場にかけての生産に対する、原料確保に苦慮している。

新聞、雑誌に関しても、秋口から洋紙大手メーカーがDIP設備を増設するため、それに向けての材料確保に動いている。我々古紙業者の流通在庫は底をついている状況で、業者間の仕入れ過当競争を引き起こしている。



グなどがスリムになってきている。その分発生する古紙の量も減ってきている。最近一部では変わった規格の判型の本が出ており、ムダ紙の出る仕事も増えてきたと思つ。

紙代、インク代が高くなり、総予算は変えずに、その分部数を落としているような傾向が見受けられる。

質疑応答

古い取引の仕方での回収実態は

東京工組

ある会合の際、昔ながらの取引の仕方、正確に重さを測らず、支払いについても、領収書の発行もない。そういう業者が結構あるという話が出た。そのような事があるのだろうか。あるならば話を聞かせて欲しい。

東京協組

集荷の場合、1人や2人でやっている所が多く、長い取引の上の信頼関係において、帰ってから目方を計り、値段を計算するという事が多い。

東京協組

我々古紙業界では、口約束で値段を決める事がある。なかなか文書で出すという形は、

大きな業者だと何十軒もお得意がいるので難しい。基本的には電話一本で「来月はこの値段で」というケースが多い。

東京協組

現在、日本の古紙の2割が輸出されているが、これは中国での旺盛な需要による。しかし将来、この形が崩れた時にどうするのか、いろいろな取り組みが考えられている。

そのうちの1つが、全国の組合連合会で積極的に取り組んでいる「古紙商品化適格事業所」認定制度。これはそれぞれの事業所に「選別され品質の良い古紙を扱う事業所」であるという認定を与える制度で、世界に通用する品質を維持するためのものである。

東京協組

「古紙商品化適格事業所認定制度」と並行して「古紙アドバイザー制度」にも取り組んでいる。これはさらに他業界（廃棄物業界等）では取得できない制度でもある。

現在の古紙回収率と古紙利用率

東京工組

現在、古紙の回収率はこの位か？

東京協組

回収率は2006年度で73.8%、200

ると思う。

改善されていないとすれば、製本業者の皆さんが集荷業者と話し合いを持って欲しい。

東京工組

港支部で聞いたところ、35社中の数社が逆有償で、金額は各社まちまちだが、処理代を払っていた形が、そのままずっと続いている。

小さい事業所が多く、分別はきちんとやっていると思つし、現在では、つば上げはやっていないので、逆有償はおかしいのではないかと支部員が多い。そのところはどうかになっているのか。

東京協組

港区には古紙問屋がないので、地域的なものである可能性が高いのではないか。一番近くて品川、江東、目黒あたりなので。

東京協組

どうしても量や種類が千差万別なので、毎回、製本組合から正式な値段表の提出を要望されているが、このメンバーだけなら数字が出るかもしれないが、業界としてきちんとした形で数字を出すのは、公正取引の問題もあり難しい。

東京協組

7年1~5月で74.3%、利用率は2006年で80.8%、2007年1~5月で80.7%となっており、製紙連合会が定めるガイドラインの数字はここ数年、毎年達成している。

日本には古紙回収の専門業者がいるが、アメリカの場合は産廃業者がそれにあたる。回収の仕方、新聞から雑誌からその他の古紙も混ぜて回収する。

以前、日本の古紙はアメリカのそれよりも随分値段が低かったが、このところようやく追いついた。何故かというところ、アメリカの古紙はパルプから作ったものがストリートに市場に出るため、繊維がしっかりしていて、何回も再生できるから。しかし、きちんと選別されている日本の古紙の評価が上がっている。

東京協組

アメリカは森林資源が豊富なため、紙を再生するという概念が薄かった。又、国内での古紙の需要もない。ダンボールでさえパーズンパルプで作っていた。町のゴミ箱は資源ゴミ用のもので、その中に紙や瓶、缶やプラスチックなどが一緒くたになっている。それを集積場で選別するが、その時点では紙はダン

一般家庭から「古紙がすぐ出たので引き取ってくれ」と言われ、最初は対応していたが、最近では「トラック何林分ですか」と言っている。

一般市民の「すぐ」はダンボールで何個という程度だが、我々の感覚では4トントラック何台分かというものである。

「いくらで買ってくれるのか」ということだが、集荷にかかる費用、即ちトラックの償却費、人件費、保険料、手間賃等を分離すれば、ある程度の古紙の単価が出てくると思つ。

東京協組

基本的に集荷業者は得意先との関係に気がつかっている。長期に亘って集荷業者はひどい状態を経験してきたので、臆病になっている。お得意先との話し合いも少ないかもしれない。

集荷業者は我慢強い。10円以下の品物を長い間扱ってきている。そういう中でお得意先に負担をかけないように、逆有償を打ち出すにしても、自分たちが食べていくギリギリのラインで抑えて今までのいできた方が多い。その辺をご理解いただければと思つ。

東京工組

おそらく信頼関係の上でやっているので

ボールから雑誌から、全てが混じっている。紙を更に細かく分けることはない。ある程度紙だけにして中国に輸出するが、中国ではそれを一旦東南アジアに送り、更に選別作業をしている。

日本の古紙を買ってみて、その品質の素晴らしさに触れ、高い値段でも買つようになつた。

東京工組

最近増えてきた中国産のダンボールは、どういう扱いにしたらよいのか。日本製のダンボールと比べ再生できるのか疑問である。しかし供給元は出版社や印刷屋で、我々はそれを選べない立場にある。

現在も行われている逆有償について

東京工組

ある会合の中で出た話であるが、支部によっては逆有償のところはまだあるという話を聞いた。その点はどうなっているのか。

東京協組

以前は出る品物によっては、逆有償にならざるを得ず、協力をお願いした事はあった。しかし今は、少しでも還元できるように努力をしている。段々逆有償は無くなってきてい

私の感覚でいうと量の問題もあると思つ。港支部の場合、その内容をよく聞かないとわからない。集荷業者が状況を聞いてから、製本業者にわかるように説明して欲しい。

東京協組

集荷としては、今の相場から問屋さんの経費を引いて、ある程度の利幅をとらせていただいている。そうしないと生活が立ち行かない。

たとえば1回収に行つて、100kgに満たない場合、それだけ経費がかかるという事を理解していただきたい。

港支部の状況だが、逆有償の値段は昔から同じ値段なのか、それとも値の動きによって変化しているのか。集め方によって、どうしても自分たちの経費が出てこなければ逆有償になる場合もある。

東京協組

正直、他の商売だったら、見積もりをとって高ければ、「もついいよ」という商売もあると思つが、製本業者の方々は集荷業者を大切に、取引先というよりもビジネスパートナーとしてみていくるので、そういう意見が出てくるのだと思つ。我々もよりクリアな形にしていかなければならない。今回の話し

合いには支部長も多数参加しているので、支部の方にも情報が伝わると思いますが、しばらく様子を見ていただきたい。

お互いのコミュニケーションが必要

東京工組

京橋支部で支部員全員の実情を調べた。その結果に基づき質問が何点がある。

1つ目は古紙相場の変動を株価のように見ることのできるシステムがつかれないかという事。

2つ目は計量の問題、例えばこれは皆さんの事を信頼するしかないが、いかに製本業者に正確に計量を行っているかを伝えるか。提案として、地区に1つの計量の場所を作り、そこで全ての計量を行う。そうすることで回収業者は負担が少なくなり、製本業者にも正確に計量を行っていることをアピールできる。それから回収手数料。京橋支部員は回収手数料について理解あると思う。底から出す所、フォークがある所、袋に入れる所それぞれ値段が違い、2トン車しかない回収業者と4トン車で何社か回ってこられる回収業者でも違う。手間賃がこれだけかかるので回収手数料はこれだけだという内訳を提示してもらえ

りであり、取引業者に関することはまだ未定である。

自分たちの認定制度として、確固たるものに作り上げたい。

東京返本加工協同組合

第42期 通常総会開催

定款改定等、全ての議案を満場一致で承認

8月23日文京区の東京ドームホテルに於いて東京返本加工協同組合理事長・藤井康夫、組合員16社の第42期通常総会が開催されました。

総会は齋藤米蔵理事の進行で、工藤裕樹理事の開会の挨拶の後、藤井理事長より第42期は組合員の協力と日本出版販売株式会社様並びに出版共同流通株式会社様のご指導により無事に好決算にて終了できたとの謝辞が述べられました。続いて議長の選出に入り山中明徳副理事長が満場一致で選任されました。議事では事業報告、決算報告、剰余金処分案等が各理事より提案され全会一致にて承認可決されました。決算報告では売上部門の合計

ば、我々としては理解できる。しかしそれが出てきていない。

以上の3点が解決できれば、問題が出てこないのではないか。

東京協組

計量については、問屋さんに卸す場合、台費場で計っていると思う。自社の場合、余った秤を一部の製本会社に貸与し、計ってもらっている。ただ、現在では秤の値段も高く全てに配布はできない。

製本業者に計ってもらえれば、納品書ももらえるし、我々も計る手間が省けてそれだけ楽になると思う。

東京協組

取引をなるべく公正・公平にするため、組合や支部などの団体で値段を取り決める事ができるかを、公正取引委員会に聞いたところ、まさにそれは公正取引法違反との事であった。ある複数の人間が、何かをオープンにしようとして集まって決め、それを構成員に知らしめる行為は公正取引法違反であるという事だ。

東京工組

そういう事ではなく個々の業者が、「うちが4トン車で回ればこれだけ費用がかかる」というように、個々に提示してもらえば良い。

が85,321千円(前年比13.7%となり5期前の第38期の45,244千円の2倍近くの196.8%と成長していることが報告され、共同輸出事業の取組と好調な古紙価格が後押し等も好決算の要因であったことが報告されました。

本年は会社法並びに中小企業等協同組合法の改定に伴い、定款の全面的な改定を実施しているが、併せて出資金1口の金額についても改訂することし、事前に組合員より同意書の提出を受けており、定款改定議案についても全会一致での承認可決となりました。

総会は上田雄健理事の閉会挨拶により無事終了となり、来賓を代表して出版共同流通株式会社専務取締役・中山剛様より祝意と今後のゲストをお迎えし和気藹々とした中開宴となりました。

総会懇親会は出版共同流通株式会社・代表取締役社長高見吉弘様(日販・常務取締役)、東京都製紙原料協同組合理事長近藤勝様等多くのゲストをお迎えし和気藹々とした中開宴となりました。

来賓の高見様からは出版共同流通株式会社は本年50周年の感謝会を過日行ったが、9年間の足跡を辿ると東京返本加工協同組合さん並びにその傘下にある皆さまの各社のご支援無しでは良い業績を残すことは出来得なかつ

東京協組

それは業者に言ってもらえれば、教えてくれるはずである。

東京工組

先ほどから話してわかっていくように、お互いにコミュニケーションが不足しているのが大きな問題だ。疑心暗鬼も生まれる。

今まではそれでも通っていたが、今は難しい状況である。

製本組合独自の個人情報保護体制認定制度について

東京協組

製本工組の個人情報保護体制について聞かせて欲しいという支部員からの要請があった。先々取引業者にも認可取得を要求されるのだろうか。小規模な業者は負担になるので不安を抱えている。

東京工組

製本組合独自の個人情報保護体制認定制度としてようやくスタートを切った。

現在、104社が受講している。我々も小規模企業が多いので、費用や時間、文書作成の手間などの削減を行い、10万円程度で取得できるように考えている。スタートしたばかり

た、今後も連携を密にした関係を継続し双方が更なる飛躍出来る様、頑張っていきたいとの挨拶を頂戴いたしました。近藤様からは総会より出席させて頂いたが、共同事業の取組等、大きな実績を造られており、組合活動としての見本であるとの大きな讃辞を贈って頂きました。出版共同流通株式会社の新取締役・羽山様の乾杯により会は大きな情報交換の場となり、立食会場では幾つもの輪が出来上がり貴重な時間帯となりました。

カラオケ大会では初めて会にご参集頂いた方々に自己紹介を兼ねて喉を披露して頂き大きな盛り上がりとなり、19時30分過ぎ、8瀬本義継理事の中締め挨拶により散会となりました。皆さまのご協力を感謝申し上げます。(事務局記)

集荷部委員会開催

集荷部部長 宮崎勝保

7月21日(土)9時より組合会議室にて集荷部委員会を行なう。参加者は6名と特別参

加として近藤理事長が出席されました。部長の挨拶に続き理事長の挨拶の中に前日行われた製本工業組合の城所理事長の叙勲祝賀会に呼ばれて行った話があった後に、皆様が集まって、忌憚ない話し合いをする事は集荷部や組合の活性化の為にとても大切な事ですとお話しがありました。議事に入り、集荷部委員の出席者が少ないが委員に再度の連絡は行なわれたのか？各支部や委員に対してもっと積極的に出席をつながした方が良いのでは、

そのようにして集荷部の活性化がすなわち組合自体の活性化につながるのではないかと、という意見があった。執行部としても同意をし今後各支部会に依頼し出席をしたいと思います。おります。

又、7月30日行なわれる製本工業組合との会合に対し各委員の意見を聞いた所、たしかに価格修正にて単価は良くなったが、古紙の発生状況が悪く、又買入価格の修正もよきなくされ、更に過当競争も出はじめ経営的には良くなっていないとの話をしてほしいという意見もありました。

われ、早速ピッチャーを両手に持つてこの分はサービスですと営業をし、飲物担当のウエイトレスを連れてくる。皆それぞれの注文をし、座も一段と盛上がる。中央に「サイコロステーキ」を現金売りでの屋台も出、まずまずのお味でした。時計も6時を回りお聞き。若い数名の方達は上野の繁華街に消えた様ですが、明日からの活力になれば良い事です。

山手支部 家族慰安会

山手支部厚生部長 飯塚宗夫

八月四日(土) 椿山荘にて、猛暑日にもかかわらず、老若男女七十名以上の出席をいただき、会宴する事が出来ました。今年度当支部に於いても、役員改選が行なわれ、支部長・脇克美、理事・長井保、宮崎勝保、庶務・徳永裕司、会計・鈴木邦男、以上の方々が、新任され、私自身五年目を迎え、役員の顔ぶれが、変わっていない事に、少なから淋しい思いがしていました。脇支部長の挨拶で開宴し、長井理事の乾杯で会食がスタート、目の前で料理してくれる大ぶら、牛ステーキを始め、鮎、デザートが食べ放題、アルコール類は当

支部便り

文京支部納涼会

文京支部長 大柴 和男

文京支部納涼会を8月8日(水)東武百貨店池袋本館15階 中国湖南料理 華湘にて開催いたしました。

司会進行を三弘紙業(株)の森山亨様をお願いして、支部長のあいさつ、新理事長近藤様に乾杯の発声で開宴いたしました。

お客様は新理事長の美濃紙業(株)近藤勝様、新副理事長の(株)松井紙業 松井隆宏様、城北支部の乗附孝之様、大同生命保険(株)の服部正史様、斉藤繁子様、総勢で22名にて行ないました。

湖南料理は洞庭湖南部の料理で、南の薄味を基本に、料理・味覚ともに東西南北各地の粋を集め折衷と独創の繰り返し極めて洗練された料理を食し、飲み、話し大いに盛り上がり、今回も皆様のご協力により明るく楽しい納涼会になりました。

写真撮影と中締めをして散会いたしました。皆様、ありがとうございました。

然飲み放題です。

時間が過ぎて行く中で、テーブルマジック、ビンゴゲームで、会場全体が一つになって来ました。今年は猛暑と共に、原料価格も上傾き、組合員にも安堵の笑顔が見られ、前回より、多少和やかさがある様な気がしました。

今日出席してくれた家族から、欠席の家族へ楽しさが伝わり、支部を支援して頂ける人が増えれば喜ばしい限りです。半世紀にわたり、支部繁栄に、御支援、御協力をしてくれ、諸先輩及び家族に感謝し、慰安会を次の世代に受け継がれる為の努力をして行かなければならないと思います。

終宴が迫り、宮崎理事の中締め後も、残り少ない時間を惜しみながら、戸田の花火と談話で盛り上がっていました。

最後に、前回支部会に本部、近藤理事長を始め、清水副理事、松井副理事の御出席を頂き、組合員一同、厚く御礼申し上げます。

城南支部納涼会

城南支部支部長 坂田智

7月28日(土)八芳園にて、

台東支部納涼会

台東支部長 高山 昭二郎

7月27日金曜日、定例会を兼ねて納涼会を行いました。PM5:30集合 会場は上野精養軒屋上ビヤガーデン。当日になり野村長老が止むなき事情で欠席。8%の出席率。集合時間がまだ早いのか、エレベーターを降りガーデンの人口でオット、ビックリ。何度も来ているこのガーデン、満杯の盛況。天気にも恵まれ、花の金曜と条件が揃ったのか、今、迄一度もなかった賑いで有りました。予約席につき、定例の理事会報告及び市況交換等は早々に済ませ、カンパイの音頭と共に冷たい生ビールをゴクゴクと喉を鳴らしながら飲む。「フアー言い」皆んなの声、一日の暑さ、疲れを解きほぐしてくれる。料理は来るが飲物が来ない。料理を運んで来たウエイトレスに催促すると、料理番と飲物番と別れていると言っ。これだけ満員だと納得もするが早く言ってもらいたい。ジョッキじゃ無理、ピッチャーでと。そこに精養軒の法人担当の秋元氏が挨拶に顔を出す。飲物が来ないと皆から言

恒例の城南支部納涼会は、白金の八芳園にて開催されました。今年は、新理事長になられた近藤勝さんにも出席して頂き、各支部員の家族、従業員の名余りが参加して盛大に行なわれました。日本庭園が有名な八芳園は、土曜日という事もあり多数の結婚式もありました。納涼会の司会は、共益の駒井さんにより始まり、支部長の挨拶の後、近藤理事長に乾杯を兼ねて御祝辞を頂き、食事をしながらの歓談となりました。食事もさすがに八芳園という感じでアルコールも進み、そして皆さんお待ちかねのビンゴゲームが始まりました。このビンゴゲームの商品は支部の他に当日1000円で頂いた大同生命の服部課長 斉藤さん、小川さんからも提供を頂き、多勢の皆さんのプレゼントになったのではないのでしょうか？後藤さん、共益さんの社員の方にお手伝い頂きました。しばらくして前坂田副理事長に中締めをお願いして皆さん帰路に着かれました。会場を御取り頂いた後藤社長、写真を撮って頂いた梶野会長、いつもありがとうございます。

江墨支部支部会

江墨支部では概ね毎月二十日を目安に下町の名店「吉野鮎」にて支部会(通称二十日会)を開催しております。

毎年七月は恒例で暑氣払いを兼ね、きれいなところを入れにぎにぎしく行っております。

今回は本部より清水副理事長、宮崎集荷部長、近藤集荷副部長をお迎えし、御挨拶で古紙の市況動向、集荷の現状、展望等お話しき支部との交流に大変有意義なものとなりました。

また宴席では禁高幹事の肝入りで、向島より芸者衆を呼び八コも入り、お座敷遊びの定番野球拳で盛り上がりいつもと違った趣向で忙中閑の楽しい一刻を過ごす事が出来ました。

唯、私的には大変残念だったのは、皆さんとのいつもながらの真面目な話に終止し宴席に入りきれなかった事です。次回は大いに心を入れ替え真面目に取り組みたいと思っております。反省

(7月20日開催 参加者19名)

組合員の広場

15年を振り返って

美濃紙業(株) 守谷営業所 寺田 英昭

平成14年に入社し、永年勤続15年の表彰を受けた今、改めて振り返ってみると、色々な経験をさせてもらいながら育てていただいたと実感しています。

最初の5年位は勤務態度も非常に悪く、現専務には、だいぶ御迷惑をおかけしました。その後も現所長に色々御指導いただき、倉庫の荷物の管理やトラックやコンテナの積み込み品質管理などを10年経験し、現在は、仕込み場で頑張っております。

個人的には、平成6年に結婚し、一男一女の父として子育てに励んでおり、また平成14年には念願のマイホームを建て、家族4人で幸せに暮らしています。

あつという間の15年でしたが、これからも会社の為、家族の為、また自分自身を向上させる為にも、一所懸命働いていきたいと思えます。

私の夏休み

広報部長 清水 弘充

恒例の夏休み。今年は英国とフランスに帰ってきました。女房が先に英国に来ていたので、ロンドンのヒースロー空港で落ち合ってからスコットランドのエディンバラへ向かった。空港でレンタカーを借り空港ホテルに1泊後ドライブのスタート。英国は日本と同様、左側通行で右ハンドルなので運転には余り気を使わなくて済む。ただ距離表示がマイルなので時速60キロで走っていると思ったら、11実は60マイルつまり96キロで走っている事に気付いてびっくりする事はしばしばあった。

初日はエディンバラから北に250キロ位のインヴァネスへ向かう。本当は寄り道してセント・アンドリュースのゴルフ場を覗きたかったが時間が掛かるので諦める。英国は一般的に高速道路が整備され料金も無料で走りやすいが、スコットランドは殆ど高速道路が無い。郊外の交差点は殆どロータリー式で一旦ロータリーの輪に入ってから自分の行きたい方向に出て行く方式だ。慣れるまでは若干面

倒だが交通量が少ない所では赤信号を待つ事が無いからスムーズに交差点を通過できる。ただこのロータリー式交差点も、英国は左側通行だから右から来る車を確認すればいいが、他のヨーロッパ諸国を運転する時は右側通行だから、車が左から来るので慎重な運転が求められる。事実、英国の地方都市の道路には、ヨーロッパから来た運転手に対するアピールと思われる表示として道路上に左側を走れとか、歩行者に対するアピールと思われる表示として横断歩道に右方向を確認して渡れとよく書いてある。



英国は山らしい山が無く殆ど木も生えていない。いつまで運転してもなだらかな丘陵に羊を中心とした牧場が続いているが、スコットランドまで来ると森林が現れ結構ゴツゴツした山も出てくる。インヴァネスは人口5万人の小都市だが清潔感のある町であった。インヴァネスと言う言葉の由来は、「ネス川の河口」と言う意味のスコットランド語だそう。そもそも英国の正式名は「グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国」であり、グレートブリテンの中にイングランド、ウェールズ、スコットランドが入っている。アメリカ合衆国をUSAと言う様に、会話では英国をUKと言う事が多い。従って歴史から考えても分かるように地域ごとの独立心はかなりのもので、今でもスコットランド、ウェールズを回ってみると分かるが、町名表記を英語名ともう一つ連記している所が結構ある。これは方言と言う事ではなく、全く異なった言語から由来している地名である。事情は若干違つが、オーストリアとイタリア国境でもかなり広範囲に亘って地名連記になっている。翌日はネス湖の湖畔を走ったが、湖と言つよりは大きな川と言つ感じであった。こちらの

気候は極めて不安定で、短時間に陽が差し、雨がぱらつき、霧が掛かる。確かにネッシーが出てきても不思議には感じない。知り合いの英国人がスコットランドに行くならスカイ島巡りがいいよと薦めてくれたので、ネス湖畔を回ってからスカイ島に向かった。10年くらい前に橋が出来たそうで、今は直接車で渡る事が出来る。スカイ島では一番大きい町ポーツリーを過ぎた辺から、最果ての地と言つ感じの景色が続いた。断崖あり急峻な山ありの景色に雨が降ったり陽が照ったりの変りやすい天候が付き合ってくれた。離合するのがやっとの道の両側に山羊、羊の12牧場が広がり、金網でフェンスが出来ていても、道路に山羊、羊が歩いていて、それを車が避けながら通る。スカイ島北端の半島近くのホテルに1泊。翌日は半島をひと回りして一路エディンバラに向かう。合計で約千キロのドライブだった。英国の運転手は飛ばす人が多く後ろから結構あおられたが、そう言う時はお先に行つても良かった。

夏のエディンバラは大変な人出で世界各国から観光客が集まっている。パントマイムや歌あり演奏ありのストリート・パフォーマンスをやっているの歩いていて楽しい。晴れていた日差しは強いが気温は最高でも25度位ではないか。緯度から言ったら樺太より北なので涼しくて当たり前だが、海流の影響もあり年間を通じて過ごしやすい土地である。エディンバラは14年振りだったが全く変わっていない。前回美味しかったアフタヌーン・ティーを同じホテルにて楽しむ。

英国はアラブ資本、ロシア資本が入って景気がよく物価が高い。ホテルも例外でなく4つ星ツインが朝食付きで4万円から5万円する。ポンドやユーロに対し円が弱いのも一因である。ホテル従業員にはインド人が多く、お客にアラブ人が多かった。

翌日、飛行機でロンドンに戻り、そのままフイターラー駅からLGVユーロスターに乗ってドーバー海峡の地下トンネルをくぐりフランスへ。夕方乗った為か、飛行機と同じ様にドリンクから始まって食事が出た。ベルギー国境のルールに1泊して翌日パリに出る。実は当初フランスに来る予定はなかったのですが、ホテルを英国で手配した。パリの土地勘がない

ままホテルを予約したので、パリ郊外ラ・デフランスと言うグラン・アーチ(新凱旋門)で有名な所に宿泊。1日目はお上りさんをして乗降自由な観光バスでパリ見学、翌日は「睡蓮」の絵で有名なクロード・モネの自宅のあるシベルニー半日観光を楽しむ。

翌日はオルセー美術館と市立近代美術館を回る。印象派の画家たちの素晴らしい絵画を堪能した。普段東京にいても美術館など行かないのに、こっちに来ると美術館、博物館に行きたくなるのも不思議なものだ。

翌日はルールに戻り旧市街地を回ってみたが予想外に素敵な街だった。歩いて回れる規模の街で、中心部は近くのベルギーのブリュッセルにあるグラン・プラスに似た豪華な建物が広場を囲んでいた。夕食に出てきた魚介類もブリュッセルで昔食べた盛り付けと同様、殻付き生牡蠣とボイルしたカニ、エビ、貝がたっぷり出た。メニューがフランス語しかなくウェーターに聞いても英語でメニューの説明が出来ないので料理が出てくるまで不安でならない。二人で注文する時は別々のメニューにして、とんでもない料理が出てきた場合の保険を掛けておくのが無難である。新市街地は近代的な街でLGVユーロスター駅が完

新事務局員挨拶

濱谷 敬子

このたび、ご縁がありましてこちらの組合事務局として働かせていただくことになりました。濱谷敬子(はまや けいこ)と申します。どうぞよろしくお願いたします。

出身は埼玉県の草加市です。おせんべいの町として有名なので、一度は耳にしたことがあるかもしれません。

趣味はゴルフやテニスなど、体を動かすことが好きで、老若男女を問わず、幅広い人達と楽しく汗を流しています。

前職は、金融機関で派遣社員として一般事務の仕事をしていました。ワンフロアーに100人近い人の中で働いておりましたので、こちらの事務局で2人ということに、多少戸惑いながらも何とかやっております。業種や雰囲気もまったく違いますが、こちらの組合ならではの新しいことを発見し、楽しみながら働けるよう努力していきたいと思っております。

新卒というわけではありませんので、これ

成した時に開発したよつで、中心にスーパー・マーケットのカルフルがあり、幕張を連想させる。

翌日はロンドンに戻る。もう何度も来た町ではあるが、ホテルにいても詰まらないので金銀細工のコレクションで有名なギルバート・コレクションを見に行く。

最終日は、出発前にホテルにて4年程前に我家にホームステイしていた少年の家族と朝食を共にする。18歳だった少年がオックスフォード大学を出て、現在は米国の大学で古代ローマ史の勉強をしている。すっかり大人になっていた。ご両親とも旧交を温めた。

今回は、英国、フランスと言つ特に物価の高い所を回ったせい、日本円の弱さを感じた。昨年のオーストリアはかなりのいいホテルに泊まっても、英国の3つ星ホテル程度の価格だ。英国、フランスで4つ星ホテルに泊まるならパック・ツアーの方が安いだろう。

昨今、世の中が物騒で英国、フランスでテロ事件が報道されているが、空港、駅、広場などの警備は可なり物であった。空港のチェックでは靴を脱がされたりボディ・チェックは当たり前だし、警察官の姿が目立つ。フイターラー駅で汽車の写真を撮つたら、直後

までの経験を活かしつつ、新しい気持ちで仕事を覚え、1日も早く慣れていければと思います。まだまだ不慣れなため、ご迷惑をお掛けすることも多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

お知らせ

10月会議 催事予定

10月 3日(水) 常任理事会(p24・25)

理事会(p24・25) 組合会議室

10月11日(木) 清風会ゴルフコンペ 富士カントリー笠間倶楽部

10月15日(月) 集直正副委員長会議

(p24・25) 組合会議室

10月18日(木)～21日(日) 海外メー

カー工場視察研修会 フィリピン(マニラ)

10月22日(月) 直納部委員会 (p24・

25) 組合会議室

10月24日(水) 静岡県紙業協会家庭紙

部会との懇談会 事前会議(p21・22) 本

に肩をたたかれ、振り向いたら警察官がいて職務質問されました。英国では公共建築の構造が分かるような写真は撮るなどの事。フランスでは兵隊が3人組で自動小銃を持って巡回していた。トイレ事情に関しては、さすが空港はどこも清潔になっているが駅のトイレは有料。100円前後するが汚いトイレを考えれば有料の方がいい。パリでは街中のトイレがコイン式になっていた。ドライブインの男子トイレの多くがステンレス製で個別に分かれていない。はじめ昔の小学校の洗面所を想い出して、どこで用を足すのか戸惑っていたら後から人が入って来たので、その真似をして納得。

今回ラッキーな事が一つあった。それは往復の飛行機で座席がアップグレード出来た事。どうしてそうなったか知りたい方は、私に直接お尋ねください。

会議 (aE2・30)

10月25日(木) 古紙センター業務委員会
(pm:30)全原連役員会 (pE2・30) 古紙
センター会議室

「古紙価格」

「東資協の古紙4品の標準売値」

平成19年8月8日現在

* 新聞 9~11円(横道J)
* 雑誌 5~7円(横道J)
段ボール 8~10円(上野)
色上(並) 5~7円(横道J)

「古紙品質調査事業」平成19年7月~9月価格

「新聞 古紙」 14,000円/トン
「段ボール古紙」 15,000円/トン

訃報

「荒川支部 (株)藤井代表 藤井康夫 様」
のご母堂 藤井 みね 様(享年88)
平成19年8月27日(月)逝去

会議概要 「10月」

輸出について:価格は6月に最高値になったのではない。8月からは古紙価格が入口ダウンするのではないかと思われる。夏場を乗り越えると、再び、価格が上昇してくるのではないか。

「品種別市況報告」

「新聞・雑誌」 輸出が、だいぶ先行し内外格差が開いてきている。新聞が出口にくくなった。雑誌が輸出の価格で変わってきている。

「オフィス古紙」 輸出は、昨年と比べ同じで横這い。

「上古紙」 上古紙は、ほとんど出ていかない。輸出については品質、規格が厳しく雑誌に混ざって出て行く事が多いようである。価格は、メーカーに預けてある状況。

「集荷部」 7月21日(土)午後6時より集荷部会を組合会議室で開催する。集荷は、発生が非常に少ない。せっかく価格修正があったのに発生が少なく困っている。製本組合の方で業者・取引先でのPマークの取得について話が出ているので、7月30日の製本工組との古紙関係協議会で確認をしてみる。ノボル紙業の近藤さんに集荷部の副部長をお願いする。

「7月度定例理事会」 平成19年7月
3日(火) 出席理事 29名 於)上野
精養軒2階竹の間 pm4:00~

近藤理事長挨拶

本日は、先月25日に行われた静岡県紙業協会家庭紙部会との三団体の懇談会の内容を後ほど担当より報告いたします。又全原連の主導のもと関東商組が中心となり行われたエコアクション21に、当組合より15社の参加申し込みがあり、関東商組で22社、神奈川商組で3社と計40社でスタートする事になった事をお伝えいたします。今後、全原連による「古紙商品化適格事業所認定制度」と「古紙リサイクルアドバイザー認定制度」に対しても、是非、1人でも多くこの認定を受けていただきたいと思います。

今月末には、製本工組との古紙関係協議会も控えており、皆様の参加をお願いしたいと思っております。そんな忙しいスケジュールの中ではありますが、本日の会議もよろしく願っています。

「各部報告」

「広報部」 総会号の9月号がお手元に届いた頃だと思えます。次は、7月号の準備に入ったのですが5月号が遅かったため、お届けが7月末頃になると思います。今回より広報部に高橋さんが加わりました。新しい意見として、掲載原稿を従来の組合員から会社の従業員に広げるようにしていきたい。特に、永年勤続で表彰された方を対象にしたいので各支部より伝達していただき協力をお願いしたい。今年は、役員も代わり組合員名簿を秋に作成する予定である。来年は、組合創立60周年の周年史の作成について検討している。広報誌の形態が今までB5の縦書きであるが、今の時代に合わせてA4の横書きに変更する方向で考えていきたい。

「事業部」 大同生命より現在行っている従業員共済制度を強化したいので各支部へ伺ってお話をしたいとのこと。

本日、この後、上野精養軒で納涼会を開催します。時間の有る方は参加して欲しい。

「青年部」 幹事会を7月26日(木)に開催し年間スケジュールを決めたい。その後、脇

「総務部」

組合会館の土地の賃貸借更新契約について更新する方向で話を進めて行く。
組合事務局職員募集について:ハローワークにて7月17日より募集を募り、書類選考後に面接をする。面接官は、正副理事長、総務部長、直納部長、事業部長、専務理事で行う。面接日は8月3日で勤務開始は8月21日からの予定。

「直納部」

8月6日(月)に直納共販合同委員会を開く。(株)松本光春商店様にご参加いただき7月~9月の共販価格他について協議し、終了後、納涼会を行う。先月25日に行われた静岡県紙業協会家庭紙部会では、メーカー27名の出席があり家庭紙メーカー以外にも2社参加が加わった。静岡の組合から11名、当組合から12名の参加があった。メーカー各社が非常に危機感を持っているのが感じられた。又、内外格差や輸出についての質問があり、各社とも厳しい状況であるとの説明を受けた。

市況全般については、価格が上昇傾向にあり内外格差が開いている状況にある。

副部長と辻 新副部長の歡送迎会を行う。

「その他」

常任理事の追加について

総務部副部長・直納部副部長・上田晴健さんと広報部副部長・事業部副部長・高橋宏明さんの2名が常任理事として加わってもらう。又、理事として皆川前理事長にも常任理事会に参加していただく。

古紙商品化適格事業所認定制度と古紙リサイクルアドバイザー認定制度が7月より全原連レベルでスタートするので、是非、参加してほしい。

古紙センター

「関東地区委員会」平成19年7月19日(木)

pm:30 於)古紙センター会議室

「需要動向」 07~6月 単位トン()は
対前年同月比、在庫の()は在庫率

「関東商組32社実績」

「新聞」 仕入 91,031 (98.1%)
出荷 90,890 (101.4%) 在庫 8,006 (8.8%)

「雑誌」 仕入 61,178 (99.8%)
出荷 62,957 (101.7%) 在庫 6,294

(10.0%)
「段ボール」 仕入 134,545 (104.1%)
出荷 135,739 (105.2%) 在庫 9,999
(7.4%)

〔関東・静岡実績〕

「新聞」 入荷 259,920 (100.4%)
消費 253,819 (103.4%) 在庫 221,658
(87.3%)

「雑誌」 入荷 117,923 (93.3%)
消費 126,540 (93.2%) 在庫 70,820
(56.0%)

「段ボール」 入荷 300,724 (99.3%)
消費 315,391 (103.6%) 在庫 89,203
(28.3%)

〔業者側コメント〕

「新聞・雑誌」 新聞の6月の発生が悪かった
が、7月の発生は、新聞の配達量が増えている
ので回復するのではないかと予想している。
ただ、今月の雑誌の価格は行き過ぎているの
ではないかと思われる。雑誌は、前月と変わ
らないように思える。紙素材は、国際価格で
は出遅れている。新聞、雑誌の価格は、国内
ベースで検討する必要があるのではないか。
「段ボール」 段ボールは、1～6月で6,400

トンの出荷増であった。6月の末にはヤード
に品物が無い状況であり、集荷状況も良くない。
中国メーカーは、日本の価格が安いとみ
ているようにある。

「メーカー側コメント」

新聞は、6月は発生が良くなかった。入荷は
2万トン悪い。ただ各メーカーの在庫は変わ
らない状況である。7月に入っても梅雨の長
雨で発生が良くない。5月は在庫が28万
4,000トンで在庫が潤沢であった。
段ボールは、6月は前年比100%、7月は100
～105%の間。飲料缶が伸びていない。古紙
も6月は入荷順調で在庫も減った。7月も入
荷は6月と変わらない。それぞれ在庫を減ら
しているメーカーや止めたメーカーもある。

古紙センター

「業務委員会」 「平成19年7月25日(水)
pm1:30～」 於 古紙センター会議室

「1」 古紙の需要・市況動向について
紙面の都合により、詳細数字は割愛させてい
ただきます。

「2」 専門委員会の設置について

「3」 平成19年度事業の実施について
「4」 集団回収実施団体への感謝状交付につ
いて

「全原連役員会」 「平成19年7月25日

(水) pm3:30～4:45

「古紙再生促進センター」

理事・監事56名：出席43名(内、委
任出席17名)欠席13名

(1) 古紙再生促進センター関係

業務委員会(7月25日開催)。

* 業務委員会、委員長・副委員長・委員 17
(6月14日開催時選出)承認

・ 委員長 堀川漱一

副委員長・大坪清・山本信能・栗原正雄・
深田和利・矢倉義弘

* 専門委員会の設置について(平成19
20年度)。

・ 古紙品質規格専門委員会

委員長 岡村光一

副委員長 瀧本義継

委員 石川喜一郎・上田雄健・上原
清次・大久保信隆・近藤勝・杉田三郎

田村博文・深田和利・矢倉義

弘

・ 事業計画専門委員会

委員長 高嶋良昭

委員 上原清次・大久保信隆・岡村光

二・栗原正雄・須長利行・瀧本義継

田村博文・深田和利・藤川達郎

* 平成19年度事業の実施状況について。

・ 古紙品質安定対策事業として

古紙品質向上対策検討委員会の設置

・ 広報宣伝事業として

ペーパーリサイクル講習会

サイクル・ペーパー・フェアの開催

オフィス古紙リサイクル研修会

・ 調査・研究事業として

古紙利用率向上促進対策調査

オフィス古紙リサイクル状況調査

新規用途普及促進対策等事業

リサイクル対応型紙製商品開発調

査 家庭から排出される段ボ

ール古紙の実態調査

紙リサイクルセミナー

* 集団回収実施団体への感謝状交付につ
いて

・ 推薦地区：北海道地区委員会(5団体)、
静岡地区委員会(3団体)

(4) 近代化推進事業関係

経営革新委員会

* エコアクション21合同取得事業関係

・ 全国で103社参加希望(内、関東商

組・東京都協組・神奈川県協組47社)

・ 認証取得までに要する1ヤード概算費

用20万～25万円

* 「古紙商品化適格事業所認定制度」及

び「古紙リサイクルアドバイザー認定制度」

進捗スケジュール説明。

* 安全推進事業関係

・ 「秋の作業安全月間」リーフレット作

成・配布(9月中旬予定)。

・ 「安全手帳」作成(9月中旬予定、有料

1冊100円)

需給委員会

* 海外視察調査について(視察候補地：

インド、日程：11月実施予定、5泊7日)。

* 中国輸出関係審査(検査員)12月申

請につき、合同セミナー(8月8～10日)

開催

IT推進委員会

* (株)二見 ホームページリンク申請の

件(役員会承認)

・ IT推進委員会リンク委員会にて承認さ

れております。

渉外広報委員会

* 各地区時自治体のごみ減量化施策調査
実施の勉強会を大阪地区で8月3日開
催予定。(講師：山上春美大阪府紙料
協同組合理事長、議題：行政の廃棄物
政策への取り組み)

(5) その他

* 事務局夏季休暇取得(3日間)

・ 8月15日(水)、16日(木)、17日
(金)の3日間承認。

* 組合事務所・会議室改装工事完了(工事、
什器は全部関東商組の負担による)

* 経済産業省製造産業局紙業生活文化用品
課 小山課長補佐・尾里古紙係長

・ 古紙ヤード見学：7月9日(月) 栗原紙
材(株)板橋事業所

* 日本製紙連合会パルプ古紙部 斉藤部長
他1名

・ 古紙ヤード見学：7月18日(水)(株)
WELL(株)國光東京事業所

* 経済産業省製造産業局紙業生活文化用品
課「夏季の省エネルギー対策について」

となる中国は韓国よりポリウムがある。
80銭ほどの価格修正を考えているが、もう少
し時間をもらいたい。

* 海外メーカー工場視察研修について
期間は、10月18日～21日で場所は、フィ
リピン(マニラ)で実施する。

費用は、検討中である。夕食は、フィリピ
ン料理、日本料理を予定

編集後記

広報部副部長 **高橋 宏明**

この度、思いもかけず広報部副部長を拝命
しました。足立支部(株)丸十商店の高橋で
す。

いままです組合の広報誌を目を通すか通さな
いかと言つ位でしか読んでいなかった自分で
すが、今度は製作をする側の立場に立つとは
思つてもいなかった。「大変だ」という思
いは大変なことになっています。また、組合広

特に節電への協力要請ありました。

次回開催： 役員会 平成19年

9月27日(木) 15:00～16:30

直納・共販合同委員会 平成18年8月9日

(月)一出席委員 24名 於(組合会議室
2F400)

近藤理事長挨拶

静岡県紙業協会家庭紙部会との三団体の懇談
会と今月末には、製本工組との古紙関係協議
会を終え、直納部は赤染新部長を始めとして、
大変、忙しく動いております。現在も家庭紙
原料価格につきましては、大変、流動的な状
況となっております。今後の対応等について引
き続きよろしくお願い致します。

市況について

* 古紙全般は、かなりタイトな状況が続いて
いる。お盆明けは、全品ともタイトで問屋在
庫は低位で推移している。仕入過当競争は、
未だにきつい。強含みであるが仕入は苦しい
状況である。

* 各委員長より

上 白：発生少なくてタイト。

色 上：8月上旬～9月上旬に価格修正
があるかもしれない。家庭紙メ

報誌をどれだけの方が目を通しているのか分
かりませんが、読者の中には広報誌に無関心
な人に対して「それじゃダメじゃん」と考え
ている人が少なからずいるのではないかと思
いつつ、どついたら組合員の皆様に目を通し
て読んでもらえるのか考えていきたいと思
います。

それにはやはり青年部にもっと組合員各社
から「若手」と呼ばれる方々にたくさん参加
をしてもらい、かつての青年部のように若手
が活発に意見を言い活動をしてもらうこと
により、各支部の「活性化」=「組合の活性化」
にも繋がっていき、組合員の皆様からも伝え
たい情報などがより多く出てくるのではない
かと思っています。是非とも組合員の皆様の
ご協力をお願いしたいと思います。

また、国語(文章力等)が大変苦手な自分
ではありますが、出来るかぎり清水部長・脇
副部長に近づける様な文章を書けるように
(上手に書けるか分かりませんが)、頑張っ
ていきたいと思っておりますので宜しく願
致します。まだまだ、残暑が厳しい日が有
るかと思いますが組合員の皆様も体調を崩さ
ない様にお気を付けください。

カーに独自に交渉し、一部取
引先にはご協力いただいてい
る。すべての家庭紙古紙に適用。

ダンボール：輸出は、日本の商社が背伸びを
している。円高にふれて取引価
格は値上がりしている。9月2
5日から2週間は国慶節の影響
で荷止めとなる。段ボールの方
が新聞よりプレミアム価格にな
っている。

新聞・雑誌：両方ともタイト。価格はオフ
イシャルの建値。

切付は表面化していない。19

発生が悪い。価格出さないが量は欲しい。
返本・雑誌：6月中旬ころから発生が悪い。
マイナス4%ほど返本加工組合も減少してい
る。
オフィス古紙：輸出は、ミックスが平均して
出ている。全体の発生量はマイナス。
上台紙：発生量は少ない。箱の需要が
低下している。雑誌と同じような動きで価格
帯も同じ動きである。

* 共販輸出

7月～6月の共販輸出価格について、取引先